

SDGs推進事業・人間分野

事業名 ▶ 車いすバスケットボール競技支援事業

法人名 ▶ 特定非営利活動法人彩の国キッズ&ファミリー車いすスポーツ協会



活動内容

老若男女・障がいの有無に関係なく参加できるパラスポーツ体験、車いす体験会等を企画・運営し、誰もが楽しく参加できる環境を創出しています。また、学校からの依頼により、車いす体験会や講演会も行っています。

事業取組

月1回ペースで、障がい者スポーツ体験、車いす体験イベント等を運営・企画し誰もが楽しく参加できる活動を行いました。
上記の活動の他に、学校などで障がい者スポーツ体験会や障がいのあるメンバーの講演会などを実施し、当事者のリアルな声を発信しました。
また、こうした活動を多くの人に広めるために、ポスターやチラシを配布するなど広報活動にも注力しました。

事業成果

月1開催の体験会では、総勢73人が参加しました。地域のご家族や子どもだけでなく、片道1時間以上かけて参加してくれる障がい者の方や福祉を学ぶ学生ボランティアも参加しました。学校でのイベントも3回開催しました。

総事業費

500,214 円

助成額

500,000 円

SDGs推進事業・人間分野

応援：明治安田「地元の応援募金」

事業名 ▶ 不登校の子どもたちの学びの土台をつくるフリースクール事業

法人名 ▶ 特定非営利活動法人マナビダネ



活動内容

特定非営利活動法人マナビダネは、不登校の子どもたちが安心して学び、自分らしく成長できる場を提供するため、フリースクールを運営しています。体験活動や学習支援を通じて、子どもたちが学ぶ楽しさを実感し、社会とのつながりを持てるよう支援しています。

事業取組

本事業では、週3回のフリースクールを運営し、不登校の子どもたちに安心して過ごせる学びの場を提供しました。助成金を活用することで、学習支援の充実を図り、学びへの意欲を引き出すサポートを強化しました。また、地域との連携を深め、大学生との交流や体験活動の実施により、子どもたちの興味関心を広げる機会を増やしました。保護者支援にも力を入れ、情報提供や相談の場を設けることで、家庭での学びのサポートにつなげました。

事業成果

子どもたちが学びに向かう意欲を持ち、社会とのつながりを広げる機会が増えました。今後は受益者負担を調整しながら寄附や支援を拡大し、持続可能な運営を目指します。学習支援の質向上と拠点の確保も検討していきます。

総事業費

1,584,282 円

助成額

500,000 円

SDGs推進事業・人間分野

応援：埼玉県浦和競馬組合 社会貢献活動

事業名 ▶ 健康で文化的な生活を送るための体験学習事業

法人名 ▶ NPO法人ラパン



活動内容

NPO法人ラパンは、子どもから大人まで、誰もが健康で文化的な生活を送り、心豊かな毎日を楽しめるように、文化活動・スポーツ活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動などを通じて、学ぶ機会や健康的な体力作りの機会を提供しています。

事業取組

文化活動としては、①体験型学習イベント(化石発掘体験、火おこし体験)、②真珠を使ったワークショップ、スポーツ活動としては、プールや海での水泳練習会を開催しました。
また、草加市の特定非営利活動法人からの企画協力依頼を受けて、草加市の地域活性化と文化活動への啓発を目的とした「本陣文化祭」という企画を立ち上げました。このイベントは、草加市で活動している市民団体の活動発表の場として室内楽や殺陣の披露、茶道体験などのプログラム、健康セミナーや骨密度計測の他、消防署との合同企画として「泳がない水泳教室」と「水辺の危険性と水難対策」の講座を開催しました。

事業成果

昨年の越谷市市民活動支援センターや特定非営利活動法人今様草加宿に続き、こしがや市民活動連合からも協働企画依頼がありました。またイベントを重ねる毎に、新規参加者やリピーターも増えつつあることから、当法人の事業には潜在的な需要があると再認識しました。
これまで以上にイベント開催情報の周知徹底を図り、受益者の増加とイベントの活性化を実現したいと考えています。

総事業費

447,272 円

助成額

306,000 円

SDGs推進事業・豊かさ分野

事業名 ▶ 目が見えない人が言葉と指先で見えない初心者に教えるスマホ教室

法人名 ▶ 特定非営利活動法人アイサイトさいたま



活動内容

視覚障害者の困り事は移動と情報です。当法人はその解決を目指し、①スマホ教室②移動ワークショップ③タンデム自転車普及④誰もが参加できるカフェ⑤視覚障害・ロービジョンに関するあらゆる相談への対応を行っています。

事業取組

スマホは社会生活において必携の具となっています。画面を見て操作することができない視覚障害者の使用率が極めて低い中、スマホを使用した経験のない視覚障害者を対象に、題記の教室を計12回行いました。音声と指での操作に熟達した当事者講師が、同じ視覚障害の受講者各々のニーズに対応して、わかりやすい言葉で指導、マンツーマンで行う全国的にも稀な教室は大好評、好評価を受講者全員からいただくことができました。

事業成果

スマホ操作だけでなく、消極的だった受講者が、受講後には新たなことにも取り組みたいと前向きになられたことが大きな成果であり、今では視覚障害者の大半を占める中高年の中途失明者のQOL向上に今後も努めます。

総事業費

520,600 円

助成額

484,000 円